



戸塚教会だより

2026年1月号 No.246 発行：カトリック戸塚教会

皆が集い安らげる教会

《2025年度活動方針》

神の母聖マリア

主任司祭 田丸 篤

教会は一年の最初の日を神の母聖マリアの祭日として祝います。私はこの一年を始めるにあたって神の母となられたマリア様の御保護を求めたいと思います。そして自分としてこの一年の歩みを進めていくときに、マリア様と心をつにして歩むことを大切にしたいと思います。マリア様と心をつにするとは、自分に理解できないことであっても、また将来の予測がつかないことであっても、ただ神様の力と、決して誤ることのない導きを信じて、ひたすら神様の思い、み旨がこの世に実現していくことを求めていくことです。そしてそのために自分を差し出すことです。

ルカ福音に「マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。」(ルカ2:19)とあります。私たちにもこのマリア様の態度が求められます。いろいろな出来事を心に納めて思い巡らしていくこと。そしてその中に神様からの呼びかけを見出していくこと。私たちの日常にはいろいろなことが起こります。うまくいかないこと、苦しいこと。時には自分のあり方を見つめ直す必要に迫られることも起こります。でもそれらを静かに受けとめて、その出来事に秘められた意味を見つめていくことです。そのためにマリア様のように出来事を心に納め思いをめぐらす態度が大事なのだと思います。普通だと思っている出来事の中に神様からの働きかけを見つけていくこと。神様の望み、思いを感じ取っていくこと。今、この私に神様は何を望んでくださっておられるのだろうか。一年の始めに、心静かに思いめぐらし

てみる。この新しい年をどのように過ごしていったら一番よいのか見つめてみる。そのような一年の始まりにしたいと思います。

新しい年の最初の日、教会は世界平和の日として世界の平和の実現のために祈りを呼びかけます。今、世界で起こっていることを見つめること。今の世界の現実の中に、人が生活するにふさわしくない環境の中に置かれている人々が数えきれないほどいます。その状況に心を向け、心を合わせて祈りたいです。平和の実現のために、私は母の心でこの世界で起こっている出来事、現実を見つめることが大切だと思います。母親は自分の子どもが病気の時、また様々な苦しみの中にあるとき、その子の痛みと苦しみをなんとか取り除いてあげたいと心を尽くします。それが母親の自然な思いです。この地球上、世界中の苦しんでいるところ、病んでいるところ、その中で手当が必要な所をマリア様と心を合わせて母の心で見つめていく。そして手を差しのばしていく。そのような態度を大事にしていきたいです。マリア様が出来事をいつも心に納めて思い巡らし、その中で神様のみ旨に従おうとされたように、この世界の現実が私たちに求めていることに私たちも心を向けて、新たな心で歩み出していくことができますように祈りたいです。



★★ 信徒の声 ★★

心の痛みと暖かさを頂いた旅

——原発事故から14年経った福島南相馬へ——

K.N

私たち戸塚教会では定期的に福島の「やさい畑さん」の野菜を購入する機会があります。当日の朝5時間かけてきて下さる「やさい畑さん」のお野菜や果物はとても美味しいです。お買い物をする皆さんとのやりとりはいつも笑顔に溢れています。そんな中、私たちは14年経った福島の現状はどうなっているのか知る必要があるとSさん、Aさん、Sさんが発起人となって「福島南相馬への巡礼の旅」が実現しました。

私たちが一泊二日お世話になったカリタス南相馬は原町教会のすぐ隣にあります。

カリタスの職員の方々が二日間被災地の現状を案内して下さいました。

震災遺構となった請戸小学校、東日本大震災・原視力災害伝承館、廃炉資料館、中間貯蔵

事業情報センター、環境再生情報広場（ながどろひろば）、南相馬市メモリアルパーク等を案内して下さいました。

車の案内途中、避難指示が継続している期間困難区域を通りました。

廃墟と化している村にも立ち寄りました。美しい木々があふれ、春には桜が広がり紫陽花も咲くその場所には「ようこそ花の町」と書いてある石碑がせつなく寂しく立っていました。事故の前は多くの人々がその美しい場所を散策したことでしょう。

教室の窓から福島第一原発が見える請戸小学校では、その場に立ち、歩き、見て、心に突き刺さるほどの苦しさを覚えました。

子ども達が楽しく登校した昇降口、沢山の作品が培われた図工室、おいしいお昼ごはんが用意された給食室、みんなの教室などなどが想像を絶するほどに破壊されていました。津波の脅威を感じました。請戸小学校のみなさんは全員無事だったことが救いでした。先生方の英断と子どもたちの勇気に感動を覚えました。歩きながら涙が止まりませんでした。

また、「ながどろひろば」での除染で発生した土壌再生の取り組みに大変な技術と努力を知る事ができました。汚染された土壌は大量です。その中の低濃度放射線量の物を再生して花の栽培、田畑等に使用できるよう広大な敷地内で研究実施していました。再生された土壌で咲く花達の姿は放射能被害を忘れてしまうほど可愛く可憐で美しかったです。

「南相馬メモリアルパーク」には、亡くなられた方々の慰霊碑があります。津波に襲われた後に救助隊が入り捜索が始まりましたが、すぐに放射線の危険性の為、誰もその場所へ入れなくなってしまいました。家族を捜索したいという悲痛な願いを断念させられた事実があります。ご遺体の中には、命がつけなげたかもしれない状況の方もいらっしゃったそうです。

皆で深く深く祈りました。

辛く苦しい現状を深く考えさせられましたが楽しい事もありました！

カリタス南相馬で頂いた夕食は！幸田司教様自ら作って下さった特大コロッケ！

とても美味しくモリモリ頂きました。幸田司教様、シスター方、職員の方々は暖かく愛に溢れておられました。皆での会食と食後の飲み会？では笑顔が爆発していました。

この旅では、沢山の知らない事、目の当たりにして心を揺さぶられた事等多くを体験させて頂きました。

14年経った今でも福島の痛みは続いています。

「復興というけれど失われたものは戻ってこない」と地域の方の言葉です。

自分には何ができるのだろうか？

祈りながら、考え実行できたらと思います。

みなさまも是非カリタス南相馬巡礼の旅をご経験下さい！！



MINAMISOMA

南相馬市訪問先の写真(狩野さん撮影)



帰宅困難地域の廃墟
と化した場所



環境再生情報広場(ながどろ
ひろば)の花のハウス



ながどろひろばで栽培
された花



震災遺構
請戸小学校の中



請戸小学校の教室



幸田司教様の手作り
コロッケ

「教会だより」編集担当の戯言

O.T

今の教会聖堂が完成してすぐの頃、当時の信徒会長（教会委員長）から、「毎月の教会行事予定表を信徒が興味を持って手に取ってもらえるようにしたい。」との要望から、毎月教会報を発行することになり、私は編集メンバーの一人としてご指名を受けました。

編集委員会が組織され、近隣小教区の教会報を参考に、「戸塚教会だより」がスタートしました。

信徒の方達から寄せられた短歌、俳句、エッセイ、評論、教会学校の子どもたちが寄せてくれる、短いながらも思わずほっこりする作文など、なるべく原文のまま、手を加える事はせず掲載してきました。なので毎月の編集会議は内容についての話はあまりせず、あくまでも掲載する順番や印刷・配布のスケジュール、次号の原稿を誰に書いてもらうかといった話し合いがメインテーマになっています。時には紙面の都合で掲載を先延ばしにしてもらうことや、文章を短くしてもらうといった事もありますが、聖書やカトリックの教義に反する内容でなければ「来る者は拒まず」の姿勢で臨んでおります。

初めは広報紙の編集などやったことのないメンバーでしたが、号を重ねていくうちにパソコンでのレイアウト、印刷、折込みの要領なども工夫出来るようになっていきました。私も恥ずかしながら一時期「編集

後記」なる短文を毎号載せていました。

これまでのモノクロの地味な紙面も、今はカラー印刷、写真も掲載できるようになり、更に時代は進み、Web サイトでの閲覧がメインとなって、全員配布だった紙媒体は持ち帰りたい人、希望する人に配布することになりました。教会だよりも今後更なる進化（変化？）をしていくことと思います。

そんな時の流れを思うと、創刊からずっと続けてきた自分の役割もそろそろ潮時と思い、この度、編集担当の役を終えることにしました。

かつての主任司祭マルコ神父の時だったか、一人の人が長く同じ役をするのは良くないと仰っていたのにも関わらず、タイミングを逸して現在に至っておりますので。

歴代の広報委員および編集担当の皆様には心より感謝します。

私が抜けて人が足りないのであれば、きっと神様が新たな人を起こして下さると信じます。

これを読んで「・・・やってみようかな、教会だより編集」と思ったあなた！それは聖霊のお導きかもしませんよ？知らんけど（笑）。



編集委員会

合同クリスマス会

12月6日（土）に湘南とつか YMCA ホールで、戸塚区内のキリスト教教会・明治学院大学及びとつかYMCAによる「2025とつか合同クリスマス」が開催されました。

今年は、参加する“子どもたち”への配慮から開始時間を今までの16時から14時に繰り上げて行われました。第1部は、参加者皆で賛美歌を歌い、次に各教会によるページェントが行われ、第2部は、「横浜シティ・フィルハーモニック」有志(戸塚教会からはI氏が参加)による“クリスマスソングメドレー”の演奏が行われました。

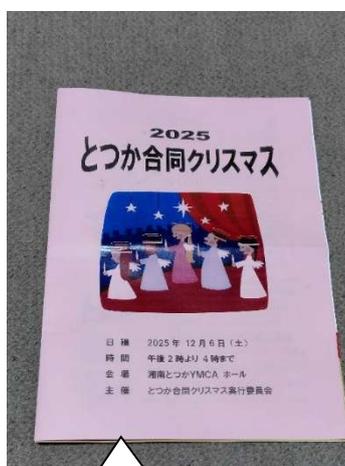
カトリック戸塚教会は、ページェントの中で「東の国の博士」を受け持ち、合同クリスマス会を盛り上げていました。



会場入り口の立て看板



ページェント風景



パンフレット



横浜シティ・ハーモニック
有志による演奏

福祉部からのお知らせ

「ラウダート・シ」ゴールズ - LSGs (毎月、7項目のLSGsを1項目ずつ掲載します。)

4 持続可能なライフスタイルを取り入れて

知足（足るを知る）の心をもって、資源とエネルギーの節度ある使用を進めることです。具体的な実践としては、ごみの削減やリサイクル、持続可能な食生活（植物性食品を増やし、肉類の消費を減らす）、公共交通機関の利用拡大、徒歩や自転車での移動、使い捨て製品（プラスチックなど）の回避などがあります。司教協議会「ラウダート・シ」部門 HP より引用



1) 2025年愛の献金

総額 431,790 円の配分について、下記のように教会委員会の承認を得ました。可能なところは、福祉部員が手分けして対象の事業所を訪問し、届けます。

2025年愛の献金			
対象団体	活動内容	LSGs	円
海外宣教師を支援する会（宗教法人）	女子修道会の海外布教を支援	2,3,5,6,7	45,000
横浜マック（NPO）	アルコール依存症	2,7	50,000
横浜ダルク（NPO）	薬物依存症	2,7	50,000
聖園子供の家（社会福祉法人）	児童養育	2,7	50,000
シャロームの会（NPO）	障害者施設	2,7	50,000
やまぶき工房（NPO）	障害者施設	2,7	30,000
オリーブの会（任意団体）	障害者本人・家族の自助（精神）	2,7	30,000
クローバー（社会福祉法人）	障害者施設	2,7	10,000
関内支援グループ（戸塚教会）	貧困問題	2,7	31,790
ファミリーホーム等支援グループ（戸塚教会）	児童養育	2,7	30,000
ひだまりの森（NPO）	子育て母親相談	2,7	25,000
マザーハウス（NPO）	受刑・出所者支援	2,7	30,000
合計			431,790

2) 関内支援グループ 米の寄付のお願い

支援のおにぎり用の米が不足する状況が続きます。米の寄付を継続します。1階集会室の関内支援グループの衣装ケースに入れて下さい。(LSGs - 2,7)

3) ファミリーホーム等支援グループ

*「ベテル好士」クリスマス会：12月25日のミサ後、ボランティア信徒12名で、教会から徒歩で10分ほどの「ベテル好士」を訪問、幼稚園年長組から高校生ままで4人の子供たち、好士さん夫妻と一緒に歌い交流の時を持ちました。



*福島野菜の寄付：12月28日の午後、「ベテル好士」と「くらき」に正月用の新鮮な農産物を届けました「くらき」には、全世帯で分かち合う野菜と共に、家族内で分かち合えるよう各家庭に1個のりんごも入れました。(LSG 2,7)

4) ステラマリス・毛糸の帽子サークル

毎月、第4水曜日 13時～15時に2階の集会室で、毛糸の帽子を編んでいます。帽子は、横浜港に停泊する外航貨物船の主にアジア出身の船員にプレゼントされます。ステラマリスの活動は、カトリック教会が全世界で展開する船員司牧の役目の一端を担っています。毛糸を編んだ事のない方も気軽に参加して下さい。次回は1月28日です。(LSGs-2,7)

教会委員会からのお知らせ

教会委員会の議事録から

※委員会議事録のうち、信徒の皆さんにお伝えしておきたいことがらを抜粋しています。議事録の詳細は事務室に備えているファイルをご参照ください。なお、項番は議事録原本のものです。

【日時】2025年12月13日(土) 10:00~12:10

【場所】戸塚教会2階会議室

【開催の挨拶(主任司祭)】

今年も良い形で主のご降誕の日を迎え、一人一人が喜びの日になれたらと願う。新しい年を希望の年として迎えることができるように祈る。

【議事】

1. 協議事項

(1) 屋上防水工事について(別紙資料参照)

- ・工事日程は1/13(月)~3/13(金)の2ヶ月の工期とする。
 - ・工事資材置き場は教会西側出入口付近を予定。危険な資材は都度持ち帰るよう依頼。
 - ・工事車両は教会西側出入口付近を予定。
 - ・その他、水道・電源・トイレなど教会設備を無償貸与。
- 承認。2/23(月)は工事休止。工事作業は17時まで。受付は16:30までのため、受付担当と調整。

<今後の日程>

- ① 契約書締結(12月末まで)
- ② 屋上物品移動(1/12(日)まで)
- ③ 防水工事(1/13(月)~3/13(金))(工程表参照)
- ④ 引き渡し(3/13(金))
- ⑤ 屋上物品戻し(3/13(金)~)
- ⑥ 支払い(4月まで)

(2) 信徒大会関連

① 信徒大会までのタイムスケジュール

ア 進行役候補・書記候補を委員長より打診

イ 今後の日程(配布資料参照)

1/11(日) 信徒大会公示

1/31(土) 資料印刷・配布開始、HP信徒専用ページ掲載

2/8(日) ミサ後 信徒大会

② 大会次第改訂(配布資料参照)

- ・大会次第の順番を「報告」「計画」の順に変更。
- ・前年度活動方針の振り返りと活動報告、当年度活動方針と活動計画については各部説明を省略し、教会委員長が全体の流れを述べる。

(3) 駐車場係増員について

・隣接マンション住人より、マンション前での乗降・待機について注意を受けたため、駐車場出入り調整に加え、マンション前車列整理のため係を増員する。

・毎週日曜ミサは2名、降誕祭・正月・復活祭・七五三など参加者が多い日は3名体制とする。

・人員配置を明確化。

※総務で検討。

(4) ミサ行事日程の確認(広報)

・クリスマス飾り片付け日、初聖体クラスを追記。

・1月号「教会だより」は1/10(土)発行予定。

(5) 2026年度予算案再検討・承認

・添付資料をもとに説明。訂正案をもとに1/18教会委員会で最終決定。

2. 報告事項

(1) 主任司祭 特記事項なし

(2) 教会委員長

・第1週日曜ミサ後のレクリエーションを事前周知し、参加者を増やす。

・12月の折り紙リース作りワークショップは好評だったが、事前周知すればさらに参加者が増えた可能性あり。

→2月教会委員会で毎月のイベントを検討し、早めに周知する。

(3) 財務部

① 12/6・7「宣教地召命促進の日」献金額76,000円。横浜司教区へ振込済。

② 外灯LED化工事費用¥890,000支払い済。

(4) 総務部

① 隣接マンションからの注意を受け、立て看板設置、駐車場利用注意事項、近隣有料駐車場案内を配布。

② 向かいのひまわり幼稚園に挨拶予定(案内看板を幼稚園敷地内に設置しているため)。

③ クリスマスマサ(夜半)開催に際し、近隣マンション・戸建てへポスティング予定。

(5) 管財部

① 外灯LED化工事11/7完了。金額¥890,000。

② 床・ガラス清掃12/11完了。金額¥198,000。

③ 祭壇左側に75インチモニタ台作成。

④ 大掃除11/15・16実施。協力に感謝。

(6) 典礼部

① クリスマス飾り片付けについて

・降誕節は1/11「主の洗礼」までだが、2026年は1/10に結婚式予定のため、1/4 ミサ後に祭壇聖家族とロビーを片付け、1/11 ミサ後に外電飾を片付ける。

(7) 教学部

- ① 「とつか合同クリスマス会」(12/6) 無事終了。東方三博士の場面を子供2名と朗読。
- ② 初聖体クラス 1/10(土)開始。子供の都合に合わせて土日両日勉強会を開催。
- 6/7(日)「キリストの聖体」ミサで初聖体式・お祝い。
- ③ 教会図書冊数 575 冊。聖書整理し禁帯出シール貼付。

(8) 福音宣教部

・「ルカの受胎告知」でしゃべる会を 12/20(土)、21(日)に予定。

(9) 広報部 特記事項なし

(10) 福祉部

- ① 「聴く会」来年度 5/31(日)に決定。ラウダート・シに基づく環境問題をテーマに講演。
- ② 「シスターのお話し会」11/27(木)開催。参加者8名。
- ③ 「毛糸の帽子サークル」ステラマリスへ 450 枚届けた。
- ④ 2025 年「愛の献金」検討。別表に基づき予定団体と寄付額を提示。

(11) 行事親睦部

・信徒大会が昼にかかるため、一口大のお菓子を準備予定。

【次回 委員会の日程】 2026 年 1 月 18 日(日)

ミサ後 11 時半頃～

教会委員会からのお願い

〈四旬節 愛の献金 (財務部)〉

教皇は毎年、四旬節に向けてメッセージを発表し、キリストを信じるすべての人が四旬節の精神をよく理解して、回心と愛のわざに励むよう呼びかけます。この呼びかけにこたえて日本のカトリック教会は、虐げられ、差別され、見捨てられ、いのちの危機にさらされている人たちとの共感を大切にするよう一人ひとりに訴えるとともに、四旬節中の「愛の献金」を奨励しています。

この「愛の献金」は、カリタスジャパンを通して海外諸国と日本各地に送られ、難民や孤児、そして、貧困、失業、飢餓などに苦しむ多くの人々のいのちを守るために、また彼らの自立を助けるために使われます。

戸塚教会では四旬節中の主日のミサの時に献金を行います。皆様のお祈りとご協力をよろしく願いいたします。

2026年度ミサ行事日程表

月	日	曜日	典礼歴	行事	備考
1月	1	木	神の母聖マリア（祭） 新年のミサ 11：00～	（原宿教会 9：00～）	
	3	土	主の公現（祭）		
	4	日		クリスマス飾り片付け（聖堂内、ロビー）	ミサ後全員で掃除
	10	土	主の洗礼（祝）	初聖体クラス勉強会 15：00～	ミサ後全員で掃除
	11	日		教会学校 9：00～ 二十歳のお祝い、クリスマス飾り片付け（外回り）	
	17	土	年間第2主日		
	18	日		ミサ後 “しゃべり場”	教会委員会 （11：30～）
	24	土	年間第3主日 ※世界こども助け合いの日（献金） 25日（日） 13時～英語ミサ	初聖体クラス勉強会 15：00～	ミサ後全員で掃除
	25	日		教会学校 9：00～	ミサ後全員で掃除
	31	土	年間第4主日		
1	日	ミサ後親睦会（レクリエーション）			
2月	7	土	年間第5主日	初聖体クラス勉強会 15：00～	ミサ後全員で掃除
	8	日		教会学校 9：00～ 信徒大会	ミサ後全員で掃除
	14	土	年間第6主日		教会委員会 （10：00～）
	15	日		ミサ後 “しゃべり場”	
	18	水	灰の水曜日（四旬節）ミサ 10：30～ 大斎・小斎		
	21	土	四旬節第1主日 22日（日） 13時～英語ミサ	初聖体クラス勉強会 15：00～	ミサ後全員で掃除
	22	日		教会学校 9：00～ 「福島やさい畑」販売	ミサ後全員で掃除
	28	土	四旬節第2主日		
3月 1	日	ミサ後親睦会（レクリエーション）			

※四旬節中は、主日のミサ後に「四旬節愛の献金」を行います。皆様のお祈りとご協力をお願いします。

※2/20（金）より毎週金曜日は、10:00～ミサ後「十字架の道行き」を行います。

ミサの時間

【主日ミサ】
戸塚教会 土曜日＝16:00
日曜日＝10:30

【平日のミサ：火曜～金曜】
戸塚教会 火～木＝9:30
初金・金曜日＝10:00

【英語ミサ】 第4日曜日＝13:00



【戸塚教会】

244-0002 横浜市戸塚区矢部町 641
045-881-8882(電話) 045-865-2026(ファックス)
<http://totsuka-church.wixsite.com/catholic>

【原宿教会】

245-0063 横浜市戸塚区原宿 4-35-1
(電話) 045-851-7880

土曜日・祝日・平日のミサは行事や司祭の都合などで変更になる場合があります。

お知らせ

典礼

ニケア・コンスタンチノーブル信条には、
頭を下げて祈るところがあります。

「**聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、人となりました。**」

この言葉気を唱えるときは、深く一礼します。
つつい、モニタの言葉を読みたいと頭をあげてしまう人がたくさんいますが、
大事な言葉ですから、この一文だけでもしっかり覚えて、きっちり頭を下げて一礼しつつ、
祈るようにしましょう。

典礼

昨年
の受難の主日に祝福された
枝を回収します

灰の水曜日の「灰」を作るため、祝福された
枝をお持ちください。

期間 … 1/3(土) ~ 2/8(日)
場所 … 戸塚教会ロビーの箱

集めた枝を燃やして、灰を作ります。
枝以外のものが混ざってはいけないので、
ゴムやひも、セロテープなどは、
必ずはずしてください。
また、昨年
の枝の主日に祝福した枝とは
違う枝は持ってこないでください。

典礼

今年
の灰の水曜日は2/18(水)

灰の水曜日のミサは、10:30~です。
ミサの中で、灰の式を行います。
灰を受けることができるのはこの日だけ、
日曜日には行いません。

委員会

信徒
大会は2/8(日)ミサ後

お屋にかかってしまうので、ミサが終わり
次第、すぐ
に開催いたします。
戸塚教会の状況を知り、これからを考える
大事な内容ですので、できるだけ出席しま
しょう。資料は前の週から配布します。

委員会

隣のマンション前の道には、車を駐車も停車しないように

ミサ後のお知らせでもお願いしていますが、マンションの前には、駐車はもちろん、
停車もしないように注意してください。
車の乗り降りは、教会の敷地内で行うようにしてください。
家族に帰りに迎えにきてもらうときは、ミサ後に連絡してきてもらうなどして、
ミサが終わる前に周辺の道路に停車しないように、ご協力ください。

また、引き続きのお願いです。
現在はひとりで対応している駐車係を、複数でおこなうようにしたいと思います。
教会には車で来ていないが、免許をもって普段は運転しているという方は誘導のお手伝いを、
免許を持っていない人でも、運転手に声をかけたりするために協力してほしいです。
たくさんの方が手を差し伸べてくれれば、それだけ順番の幅が広がります。
手を貸してくださる方は、総務委員の河野さんまでお申し出ください。